

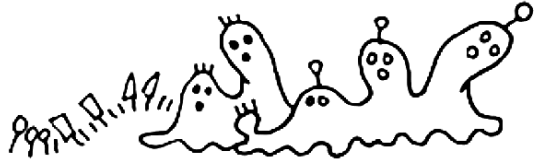
全国の対話と物議の土壌をかもすニュースをお届けします

かもす通信

はたらく女性の全国センター（ACW2）



イラストレーション/ナガノハル



今号は、花一子さんが、飼っている猫の写真を提供してくださりました

もくじ

- 02 | 介護崩壊待たなし 低賃金、人手不足はもう限界!!!!!!!
全国各地で 介護保険改悪に反対する集会 目白押し 裁判報告と一人でもデモ
- 03 | 我が家のどたばたコロナ日記
- 08 | いろんなひとのおかげで今の私がある。
- 09 | ひとことメッセージ
- 10 | 活動報告
- 11 | 組合によるエンパワーメント インドSEWA(自営女性協会)運動から学ぶ
- 12 | 編集後記

介護崩壊待ったなし 低賃金、人手不足はもう限界!!!!!!! 全国各地で 介護保険改悪に反対する集会 目白押し 裁判報告と一人でもデモ

伊藤みどり

8月23日(火) ホームヘルパー国賠訴訟が新しい裁判官が任命されて再開されました。

傍聴席はコロナ制限がなく、ほぼ満席。最初に原告3人が10分ずつ渾身の思いを込めて意見陳述をしました。今年の猛暑は半端なく訪問介護をしている現場は夏バテでヨレヨレ、へとへとの中でした。それでも何とか日程調整し弁護団、原告会議を開いてようやく書き上げた意見陳述書です。おりしも岸田政権が「新しい資本主義、公定価格の見直し」を言い介護職の常勤換算で月9000円の賃上げを実施とマスコミでは報道されましたが、大阪の介護・総がかり行動が調べてくれた調査では60%が3000円以下の手当の支払いになっていました。その実態についても訴えました。また10月からは、国費の人件費の補助金はなくなり賃上げ分を利用者の負担増で賄う状況であることも訴えました。

3人の意見陳述には傍聴席から拍手も起きて忌避した裁判長より「ましか」と一瞬だけ思い



ましたが、次の瞬間被告国に意見を聞き被告が小声で聞こえない中、裁判長は、証人申請を却下、判決日を11月1日13時と言い渡して傍聴席に「退廷」を言い渡しました。原告からも傍聴席も騒然として抗議の聲が上がりました。すると「退廷命令」と強圧的な言い方で命令を言い渡し用意されていたかの警備員が大勢法廷に入り込み原告や傍聴席の人たちを退廷させたのです。

私の経験でも証人尋問は全員認めなくとも、被告と原告一人ずつでも認めるものです。

今回、私たちが6回提出している書面に対しても答弁書と1回の準備書面だけで、まともに認否すらしていません。

一人でもデモ9月21日～毎週水曜日

何か抗議活動をしようとして原告でも話し合ったのですが、訪問介護で精いっぱい一緒に何かを行うという事がかなり大変だと思いました。

そこで韓国の非正規労働者が街宣の許可がなくともできる一人でもデモを試しにやってみました。初回は介護労働者2人でマスコミ6人、2回目は介護労働者4人と増えて、少しずつ介護崩壊の危機を伝えていけたらと思っています。10月24日から28日には大阪や東京の介護保険改悪に怒る仲間が厚生労働省前で連続座り込み行動、替え歌やスピーチ、プラカードで思いを伝えて、たくさんの方が足を止めてくれました。

我が家のどたばたコロナ日記

かな

前号のなかばさんのお母さんの介護体験記を読んでいたら、私も母の介護奮闘記を書いてみようかなという気持ちになりました。私の場合は「コロナ体験記」と言う感じでしょうか。

一緒に暮らしている91歳の母は、認知症ですが難聴がある以外はすこぶる元気で、杖も使わず歩いて、食事も自分で食べることができ、かなり自立できていたのではないかと思います。

ところが、92歳の誕生日を一週間後に控えた7月半ば、母が通っているデューサービスでコロナのクラスターが発生し、案の定母も私も感染してしまい、二人とも10日間の自宅療養と

なっていました。幸い私は軽症で熱も7度台で倦怠感と喉の痛みがある程度でしたが、母は熱はそれほどではなかったのですが、何も食べられなくなり、ほとんどベッドで横になっている状態になってしまいました。水も嫌がって飲んでくれないので、脱水が心配になりました。

(感染3日目)朝から母がしきりに「お腹が痛い痛い」と訴えるのですが、二人とも自宅療養の状態では病院に連れて行くわけにもいかず、ここは救急車を呼ぶしかないと決心して119番通報しました。駆けつけた救急隊員が手分けしてあちこちの病院に電話をかけてくれるのですが、どこも満床で搬送先が見つかりません。そうなんです！当時、神奈川県はコロナ病床使用率全国一で92%だったのです。30分以上かかってやっと診てくれる遠くの病院が見つかりました。ところが

(隊員)「この病院は何とか診察はしてくれると言っていますが入院できるとは限りません。その場合家に帰ってもらうことにはなりますが、帰りは救急車は対応できないので、連れて帰ってもらうことにはなります。コロナ感染者は公共交通機関は使えないのですが、あなたは車の運転はできますか？あなたも患者さんなのですが、もし体調が大丈夫なら、運転して一緒に来てください。」

と言うわけで私は救急車の後から車で病院に行きました。病院まで1時間ほどかかりました。私は感染者なので車の外には出てはいけないと言われて1時間ほど車の中で待っていました。母は点滴を受けることができましたが入院はできず、夜中私が車で連れ帰りました。

(4日目)母の腹痛は収まりましたが、ほっとしたのも束の間、今度は朝から持病の痔が悪化して「痛い痛い」とうめいています。見るとお尻がびっくりするほど腫れあがっています。水分がとれないので便が固くなってしまったようです。何か薬はないかとあちこち家探しして、半年前に病院で処方してもらった軟膏を見つけましたが、腫れあがった患部は触るだけで悲鳴を上げるので、そっと塗るのがやっとでした。市のコロナ119番に電話しました。療養患者専用ダイヤルなのにずっと話中。何度もかけてやっとつながりました！

(サポート)「痔はコロナの症状ではありません。ここではコロナの症状以外は対応できないことになっています。かかりつけの病院に連絡してください。」それで続けてかかりつけ医に電話します。

(かかりつけ医)「半年前の診断だけで薬を処方することはできません。直接診ないことには。」

(私)「そんな……」

母は痛がりながらもひっきりなしにトイレに行きたがるので、トイレに連れていき、汚れた紙パンツをハサミで切って脱がせて、薬を塗って新しい紙パンツをはかせ、部屋に戻るとまたトイレに行きたがり……。何度も紙おむつを取り替えるのでおむつのストックが少なくなってきました。買いに行くわけにはいかないでしょう……。と、アイデアがひらめきました。ペットの犬のおしっこシートを二つつなぎ合わせて代用おむつに。「私って頭いいかも。」と自画自賛して、頬が緩みました。ささやかな喜びを感じた一瞬でした。夜中の3時頃薬が効いてきたのか、母はやっとうとうとしてくれたので私もうとうと……。

(5日目)痔の痛みは大分和らいだようで、少しほっとしていると夜中の12時頃ドスンという大きな音で目を覚ましました。あわてて駆けつけると母がベッドから落ちて床に横たわっていました。声をかけると少し反応するので意識はある様子。でも頭を打っているかも。まして119番通報。救急車が来るもやはり病院は見つかりません。救急車は5分で来てくれましたけど、その後の病院探しの電話をずっとかけていて、まるで電話オペレーターのようなと思いました。隊員は「今見たところ、大丈夫だが、頭を打っていると時間がたってから吐いたりすることがあるので、今夜は様子を見て、異常があれば、またすぐ呼んでください。」とのこと。

(隊員)「救急車は何度でも呼んでくださいね。たまたまベッドが空いてることがあるかもしれないから。」

(私)「……そんなに気楽に呼べるものじゃ……。」

というわけで、私は目覚ましを1時間ごとにセットして、母の様子を見に行き、無事に朝を迎えることができました。「なんて、無事どころじゃないでしょ！一応これでも私も患者なんですけど、二日も徹夜させられて、私を何だと思っているんだ。これじゃ自宅療養じゃなくて「強制労働収容所」じゃないか。」と怒りがふつふつとこみ上げて来ました。

折しも県から日課のAIのチェックコールがかかってきたので、思わず出ないで切ってしまいました。いつもの自動音声の電話の内容はこんな感じです。

(AIコール)「次の質問にお答えください。熱は37度5分以上ですか……」

パルスオキシメーターの酸素飽和度の数値はいくつですか……」そして最後に「体調が悪化したときはコロナ 119 にご連絡ください」

(私)「コロナ 119 なんて全然つながらないじゃん。何にも助けてくれないくせに。」

後日、携帯に「電話にはちゃんと出てください。」という自動メッセージが届きました。母はその以降起き上がれず寝たきり状態になってしまいました。

(6日目)市のコロナサポートからお母さん大丈夫ですかと電話。ずっと水も飲めていないと話すと

(サポート)「そうですか、心配ですね。なんとか入院できないか病院を探してみますね。」

2時間後

(サポート)「やっぱり病院見つかりませんでした。」

(私)「ええっそれで終わり？」

母の介護のケアマネジャーさんが心配して訪問診療をいくつかあたってくれましたが、「コロナ患者は診察できない」「長期契約しないと診察できない」とかでこれもだめでした。テレビのニュースではファストドクターとかが往診してくれてただけだなあ。

もう打つ手もなく、「このまま脱水で死んじゃうかも。」「私の療養期間が終わったら出歩いて病院探そうかな。コロナ以外の病棟なら空いてるかもしれないし。」などとぼんやり考えていました。

(7日目)またコロナサポートから電話があり、診てくれる病院が見つかったとのこと。またまた遠い病院でしたが、救急車が来て母を連れて行ってくれました。後で病院から電話があり、いろいろ検査をした結果「入院が必要」と診断されたとのこと。でもベッドが空いていないので、入院できる病院をまたまた探してくれて、別の遠い病院に搬送されました。夜中に当直のドクターから電話がありました。

(ドクター)「今うちの病院のベッドが空いているということでお母さんが搬送されてきたんだけど、一切引継ぎがないので、事情が何もわかりません。はじめから説明してください。どこが悪いんですか？」

(私)「……」絶句！

あとからあとから患者が搬送されてきて、次の病院に引継ぎなんてする暇がないほど、お医

者さんたち天手古舞なんですね。

というわけで母は何とか入院することができ、その後一週間ほどでコロナも治り、脱水、腎機能もなんとか回復することができました。でもまだ食事をとることができないので、点滴が手放せません。ドクターの話によると、食べられない状態が長く続くと元通り食べられるようになるのは難しいのだそうです。長く入院していたので認知症も確実にすすんでいる様子とのこと。そしてコロナから回復するとその病院には入れられないそうで、転院することになりました。

病院のソーシャルワーカーさんによると、母のように自宅や施設で元気に過ごしていた高齢者がコロナにかかって、コロナから回復しても体力が戻らず長期入院生活になってしまう人が多いのだそうです。そんな高齢者の病床が不足しているので、最近神奈川県は「入院調整病院」というのをいくつか指定したそうです。入院できる病院が見つかるまで一時的に入院するところだそうです。

退院手続きで病院に行ったときに久々に5分ほど母に会うことができました。ところが「お母さん、お母さん」と何度話しかけても無表情で反応がありません。もしかして私のことわからなくなっちゃった??

テレビのニュースで病床がいっぱいで、自宅療養中に亡くなる人がいるってやっていたけど、あれ本当ですよ。我が家みたいな例あちこちにあるのでしょうか。コロナ患者が急増している今、救急隊員さん、お医者さん、看護師さん、市のコロナ119番の皆さん、それぞれ限られた条件の中で精いっぱいなんとかしてあげようと頑張ってくださいっているのですよね。ちょっと落ち着いた今は少し冷静に皆さんの苦労や優しさにも思いをはせることができますが、当時てんぱってた私は、肉体的に疲れただけでなく、心配したり、悲しくなったり、怒ったりと、喜怒哀楽の感情がぐるぐる渦巻いて、想像力が麻痺している状態でした。でもコロナが始まってもう3年になるんですね。患者はもちろん、家族や支援してくれている人たちの苦労が少しでも報われるような構造にしてほしいと心から願っています。



いろんなひとのおかげで今の私がある。

花一子

私は 20 年以上病気に苦しんできた。

興味あったことに関心を持たなくなり、仕事もできなくなり、

布団の中でボーッと一日中過ごしてきた。

しかし、最近少しずつ回復への兆しが見える。

想田和弘のおかげで映画への想いが変わった。

安田純平のおかげで政治やメディアへの疑問が復活した。

武田砂鉄のおかげでラジオとトークショーの面白さに目覚めた。本も読めるようになった。

村本大輔のおかげでお笑いライブに行くようになった。

検察庁法改正に抗議したくて、Twitter を始めた。

新庄真理子先生のおかげで死に別れの尋常ではない哀しみと、何年も続くトラウマを知った。

息子のおかげで強さと賢さと優しさと共感能力と、勉強ができる優秀さが別物だと知った。

たけちゃんが毎日送ってくれたラブソングのおかげで、音楽が聴けるようになった。

弁護士のおかげで無償の愛と信頼と正義感を知った。

身近な人のおかげで漫画が読めるようになった。

岡田斗司夫のおかげで YouTube が観られるようになった。

小田嶋隆のおかげで政治批評の感度が高まった。

何でも受け入れてくれる人のおかげで、褒められる幸せと創作への意欲が沸いた。

美容師のおかげで好きな音楽の話を共有できる喜びを知った。

伊藤みどりののおかげで信頼できる仲間と再会できた。

少しずつ少しずつ快復に向かっているのは、いろいろな方のおかげだ。

本当にありがとう。

ひとことメッセージ

コロナ禍になってから、「コロナにかかっちゃいけない！」という気持ちが強すぎて、バイトに行く以外はすっかり外出しなくなっていました。コロナは何かをやらなかったための言い訳にもなっていました。しかし、つい最近、ある別れをきっかけに気持ちがほぐれて、思い切って出掛けようという気持ちになり、友人2人と久々に横浜中華街と元町に出掛けて遊んできました。ランチも美味しかったし、お店で色々見るのも面白かったです。すごく楽しめて、付き合ってくれた友人たちに感謝感謝です。

出来る限りの感染対策はしているし、「コロナにかかっちゃいけない！」というのも、自分の責任だと思いきすぎだったんだろうなあとは感じています。

(春巻き子)

新しいアパートに移って4周目突入。メインの天井照明の癖が、やっとつかめてきました。どうやら、他の電気を使用して、30分程経つと、リモコン君が反応するご様子。かわいいです。あかし、おかしいかな？！

(うま)

若い頃は、何故か仕事がおぼつかず、27歳で精神病院に入院した経験あり!!

その後、障害者作業所から事務職や介護補助の障害者雇用を経て、最近仕事は少し認められたのか、小さなNPO法人の訪問介護の管理者兼サービス提供責任者に…
ここの職場でないと、今の職には着けなかったと思いますが、今は仕事に恵まれ幸せ
☺️🍀お互いに頑張りましょうね。

(ひろぼん)

メッセージ募集の呼びかけに応えてくださったみなさん、ありがとうございました。
ひとことメッセージはいつでも募集しています。みんなに聞いてみたいテーマも。
おひとり1つといわず、いくつでもお送りくださると嬉しいです。

宛先▶tsushin@acw2.org

活動報告

8月5日(土)	会計
8月12(金)	ZOOM 手仕事の会 5人
8月19日(金)	ZOOM 読書会 第3回 アダムスミスの夕食を作ったのは誰か 9人
8月20(土)	第4回 相談員トレーニング 受講生 8人 オリピックセンター
8月23日(火)	ホームヘルパー国賠訴訟 東京地裁 709号衆議院議員会館院内集会 63人
8月29日(月)	ホットライン振り返りの会 福岡、大阪、東京
9月2日(土)	会計
9月11日(日)	性と自分を話す会 ZOOM 4人
9月13日(火)	手仕事の会 4人 事務所
9月17日(土)	第5回 相談員トレーニング 受講生 9人 南部労政会館
9月21日(水)	介護崩壊待ったなし ホームヘルパー 一人でもデモ
9月24日(土)	女性労働問題研究会主催 新しい資本主義とケア労働 集会
9月25日(日)	介護崩壊待ったなし低賃金・人手不足はもう限界!大阪、東京実行委員会
9月26日(月)	ZOOM 読書会 第3回 アダムスミスの夕食を作ったのは誰か 8人
9月28日(水)	介護崩壊待ったなし ホームヘルパー 一人でもデモ
10月4日(火)	会計
10月5日(水)	介護崩壊待ったなし ホームヘルパー 一人でもデモ
10月12日(水)	介護崩壊待ったなし ホームヘルパー 一人でもデモ
10月15日(土)	第6回 相談員トレーニング 受講生 9人 南部労政会館
10月24日(火)～10月28日まで	介護崩壊待ったなし 厚生労働省連続座り込み行動
10月26日(月)	ZOOM 読書会 第4回 アダムスミスの夕食を作ったのは誰か 7人
10月28日(金)	手仕事の会 4人 事務所

毎月 5, 10, 15, 20, 25, 30 日はたらく女性の全国ホットライン

小グループ活動の連絡先

運営系小グループ

- 連絡調整office@acw2.org
- 事務・会計Administration@acw2.org
- かもす通信・広報tsushin@acw2.org
- 協同組合(案)検討FY@acw2.org

事務系小グループ

- ホットラインhotline@acw2.org
- 講座など共育Education@acw2.org

組合によるエンパワーメント

インドSEWA(自営女性協会) 運動から学ぶ

Self Employed Women's Association (SEWA、自営女性協会) は、零細自営女性の労働組合として、1972年にインドのグジャラート州で誕生しました。貧困女性にも融資を行う SEWA 銀行の他、個々の組合員が仲間を組織化する手法でインド各地に支部を設立し、政策提言にも積極的な役割を果たしています。ひとりひとりの組合員をエンパワーする SEWA の活動から、日本のインフォーマル・セクターで働く女性や若者の運動へのヒントを探ります。

日 時 12月11日(日) 14時 - 16時30分 ZOOM でのオンライン開催

登壇者 喜多村 百合 筑紫女学園大学元教授、現在同大学非常勤講師、教育学博士

伊藤 みどり はたらく女性の全国センター (ACW2) 元共同代表、介護福祉士

大須賀 彩夏 上智大学総合グローバル学部4年、労働組合でインターンを経験

対象：上智大学学生・教職員、一般

主催：上智大学グローバル・コンサーン研究所 (IGC)

協力：はたらく女性の全国センター (ACW2)

申し込みフォーム：<https://x.gd/RLpzg>

申し込み締め切り：12月10日(土) 正午

問合せ先：田中雅子 mtanaka@sophia.ac.jp



会員相互交流グループ

- ・読書会……………bookdiscussion1@acw2.org
- ・性と自分を語る会……………sexushariti@acw2.org
- ・ちまちま手芸の会……………join@acw2.org
(他、準備中)

小グループ活動への参加や設立
ほか、さまざまなご相談は、
連絡調整グループ

office@acw2.org (佐野)
までご連絡ください。

編集後記

■私のいる部屋は、夏は灼熱の暑さですが、冬は晴れていれば暖房が必要ありません。これまで冷凍パンを袋に入れて出窓に置き、太陽光で解凍することがありましたが、先日、小さな包子を解凍して食べることができました。時間はかかるけど、電気を使わなくてすむ、そんなめんどくささが私の楽しみです。(さのよ)

■11月1日ホームヘルパー国賠訴訟の裁判が東京地裁であり、結果は棄却。不当判決。しかし反響は大きく朝日、毎日、東京新聞で大きく報道されました。また移動時間分を賃金として支払うと介護報酬では採算が取れないと8自治体が厚生労働省に要望出しました。結果は棄却と厳しい内容でしたが国賠なので最初から覚悟していました。裁判を起こした事で介護保険が赤字でないのに詐欺的仕組みであること等、明確にされてきたことは良かったです。(伊藤)

はたらく女性の全国ホットライン 0120-787-956

毎月0と5のつく日 5・10・15・20・25・30日

平日 | 18:00~21:00 土日祝 | 14:00~17:00

会員のあなたもぜひご利用ください。毎月5日はセクハラ集中相談日

住所 | 〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3階

TEL | 03-6803-0796 FAX | 03-6803-0726 e-mail | office@acw2.org

HP | <http://wwt.acw2.org> Twitter | <https://twitter.com/acw2org>

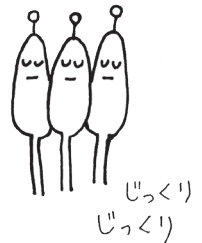
正会員年会費 | (性自認女性) 1口 3,000円 オプション5,000円 または 10,000円

生活困窮者2,000円

通信/サポート会員 | (男性も歓迎) 1口3,000円(何口でも可)

郵便振込 | 00130-1-669637

銀行口座 | 三井住友銀行 渋谷支店 普通8658522



感想など
会員のおたよりを
お待ちしております

こんな記事が読みたい、誰々さんに書いて欲しい、このテーマで書いてみたいなど、思い立ったらぜひ下記メールアドレス宛にご連絡いただけるとうれしいです。
※編集メンバーも募集中。ご連絡お待ちしております →→→ tsushin@acw2.org

2022年11月発行 第56号/編集・発行 はたらく女性の全国センターACW2

ホームページ、ツイッター、会員メーリングリストで毎日情報更新中